

「21世紀の地域保健福祉システム研究会報告」

1. 研究会の目的

21世紀を目前にして、わが国では政治、経済をはじめとするあらゆる分野で「構造改革」が進められている。その背景として、しばしば高齢化があげられることから明らかなように、保健・医療・福祉の分野については、とりわけその要請が強い。わが国の高齢化率は、2005年には世界のトップに立つことが予想されており、長寿先進国として、新しいシステムづくりのための未来モデルの提示が求められているといえよう。

本研究会は、平成12年（2000年）度を初年度とする「新・老人保健福祉計画」を念頭に、高齢者福祉の将来像を検討することを目標に設置された。研究会メンバーは保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野の有識者によって構成されており、フォーラム＝座談会形式で、21世紀の地域保健福祉システムを展望することを目的とした。

2. 研究会の構成

座長	若林 健市	（財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 参与・研究主幹）
委員	阿部 俊子	（群馬大学 講師）
	五十嵐 智嘉子	（北海道開発問題研究調査会 理事・調査部長）
	岡本 祐三	（神戸市看護大学 教授）
	フィリップ・グロード	（社会福祉法人 函館カリタスの園 副理事長）
	児玉 桂子	（日本社会事業大学 教授）
	小宮 英美	（NHKエンタープライズ21 チーフ・プロデューサー）
	高橋 信幸	（長崎短期大学 教授）
	田中 滋	（慶応義塾大学 教授）
	本間 昭	（財団法人 東京都老人総合研究所 研究部長）
	椋野 美智子	（日本社会事業大学 教授）
	山田 美和子	（CVSアドバイザー）
	山崎 史郎	（厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長）
事務局	須田 幸雄	（財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 主席研究員）
	西村 昌記	（財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員）
	山田ゆかり	（財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団 研究員）

3. 研究会開催日程

第1回研究会「検討テーマの提案と問題提起」	1998年11月10日
第2回研究会「介護の質の維持・向上」	1998年12月15日
第3回研究会「地域保健福祉体制の確立」	1999年1月26日
第4回研究会「地域保健福祉システムの再構築」	1999年2月23日
函館カリタスの園見学会	1999年3月3日
第5回研究会「痴呆性老人対策」「総括」	1999年3月30日

<注>

- (1) 第Ⅱ章中の報告1～8につづく「議論」は、各委員の報告に基づく討論の一部を事務局がまとめたものである。いずれも個別意見であり、研究会メンバーの総意ではない。
- (2) 第Ⅲ章に収録した「提言」は、第1回から第5回までの議論を踏まえた各委員の個人的見解であり、研究会メンバーの総意ではない。